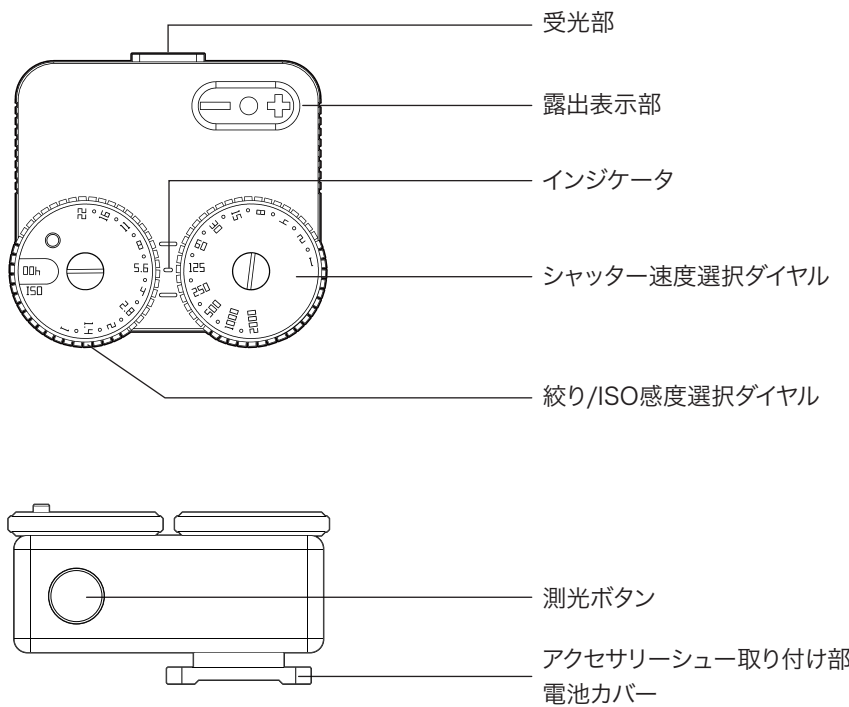


# T T A R T I S A N

## ライトメーター 使用説明書

本製品を安全にお取り扱い頂くため、ご使用前に取扱説明書をよくお読みになりご使用ください。

### [各部の名称]



### [仕様]

本体	A6061アルミニウム合金製
使用電池	コイン型リチウム電池CR1632型3V 1個
電池寿命	約60時間
シャッター速度	1秒～1/2000秒(1/2段刻み)
絞り	F1-F22(1/2段刻み)
ISO感度	ISO25-ISO6400(1段刻み)
受光角	約45度(反射光式)
測光モード	平均測光

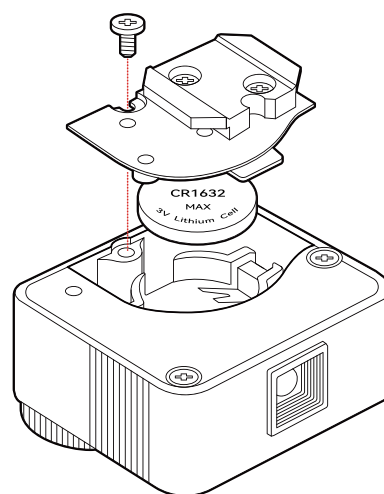
## [基本的な使い方]

### ① 電池の入れ方

コイン型リチウム電池CR1632型3V 1個を用意します。  
プラスドライバーで電池カバー部のネジを外し、ボタン電池を入れます。

#### ⚠注意

電池を入れる時は、電池収納部側面にある端子部から電池を挿入し、もう一方の端を押してください。挿入にくい場合は電池を無理に押さえず、向きや位置を調整してから再度お試しください。



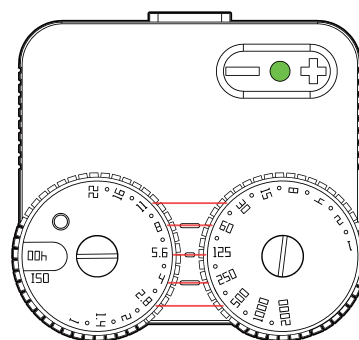
### ② 測定の仕方

ISO感度を設定し、撮影方向に向けて測光ボタンを押します。  
測光ボタンを押してから、約0.5秒後に測光が完了します。

シャッター速度選択ダイヤルまたは絞り選択ダイヤルを回して、露出表示部の●が点灯するところを探します。

●が点灯したところのシャッター速度と絞りの組み合わせが、標準露出を意味しています。

右図の例では、インジケータの赤線部の真横にある、シャッター速度1/125秒と絞りF5.6の組み合わせが標準露出の中央値となりますが、赤線の上下にあるオレンジ線までの範囲も標準露出範囲内です。撮影目的や好みに合わせて、最も適切な組み合わせを選択してください。



### ③ 消灯とスリープ

測光ボタンを押したあと10秒間何も操作がなかった場合は、露出表示が自動的に消灯し、いずれかのダイヤル操作で表示が復帰します。

60秒間何も操作がなかった場合は、スリープモードに入り、再度測光ボタンを押さないと測光しません。

### ④ 露出表示



露出過多(オーバー)  
(0.5段以内)



露出過多(オーバー)



標準露出



露出不足(アンダー)  
(0.5段以内)



露出不足(アンダー)

※長期間使用しない場合は、電池を外して乾燥した場所に保管してください。